

10.11三里塚へ空前の結集をかちとれ



82. 9. 22

No. 1152

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二二五八〇九・(公衆)〇五二二七二〇七

「反対同盟解体攻撃を打ち破ろう！」

三里塚闘争は、いまや決戦の正念場に突入している。

政府・自民党・空港公団は、「八二年度用地問題解決―八三年二期着工」を狙い、反対同盟解体―三里塚闘争破壊にむけ全力でうってでてきている。すなわち、「成田用水」事業の推進と、北原事務局長に対するデッチ上げ攻撃である。

十・一―三里塚現地への空前の大結集をかちとり、反対同盟破壊攻撃を打ち砕こう。

第一の攻撃―「成田用水」

政府・公団は、今年一―二月の石橋、内田を使った反対同盟切り崩し攻撃が、反対同盟農民の偉大な決起によって粉碎されるや、新たな破壊策動にのりだした。

それが「成田用水」攻撃である。

「成田用水」は、騒音対策の見返り事業として一般農業用水事業より二十%も高い補助金が国と県から出され、二期決戦のただなかで「受益対象地域」が芝山町菱田地区まで拡大されたものである。

このことをみても、「成田用水」は農業振興のための事業などではなく、空港建設のために策定されたものであり、「話し合い拒否、実力廃港」の基本路線で結束する反対同盟解体を目的とする攻撃である。

従って「成田用水」推進に同意し、行動するということは、政府・公団の手先として、反対同盟と三里塚闘争を裏切り、破壊の先兵にたつということだ。

動労千葉は、十数年にわたる労農連帯のキズナにかけて、反対同盟・三里塚闘争を破壊しようとするいかなる行為も許さず、十・一―三里塚への総決起をかちとる決意を明らかにする。

第二の攻撃―革マルのデマ宣伝

今日、動労「本部」をひきまわす革マル派は、その機関紙「解放」七三二号で、北原事務局長が成田警察署警備課長と密会」なるデッチ上げ記事を掲載し、反対同盟員宅に投げ入れ、動労千葉の組合員に送りつけている。

そもそも革マルは、これまで三里塚闘争をどういい、何をやってきたのか。

革マルは「三里塚闘争はスパイの運動だからつぶさなければならぬ」といって、わが動労千葉に「三里塚と一線を画す」方針を強制し、八

一・三ジェットストに対するスト破りを行なうなど、あらゆる敵対をくりかえしてきた。そして、三里塚闘争への数々の襲撃とデマキャンペーンはついに、根も葉もないストーリーをねつ造し「警察権力との密通」なるデマ宣伝を行うに至ったのである。

三里塚闘争を憎悪し、破壊するためにのみ闘ってきた「革マル」を、政府・権力の手先きといわずして何んというのか。こうしたデッチ上げ攻撃の謀略的ねらいをみぬき、怒りをこめて打ち砕かなければならない。

今こそ反対同盟農民の闘いに

応えよう

アジア再侵略にむけた軍実大国化・改憲攻撃の最大基軸である三里塚空港建設に反対し、国家権力と十七年間にわたる血みどろの闘いを展開してきた反対同盟農民の闘いに、今こそ応えよう。

戦争と反動の道を阻止するために、三里塚闘争に勝利しようではないか。

そのためには、反対同盟を解体し、三里塚闘争を破壊しようとするいかなる攻撃をも打ち破らねばならない。

十・一―三里塚現地集會に全力で決起し、史上空前の結集をかちとり、成田用水攻撃、革マルのデッチ上げを粉碎しよう。

二期着工阻止・空港廃港！

反対同盟切り崩し策動粉碎！

10.11 全国総決起集會

10月11日(休)正午

三里塚第一公園

主催・三里塚芝山連合空港反対同盟

●動労千葉集合 10時、成田運転区にて独自集會の後、バスにて出発。各支部とも総力動員のこと。作業衣着用。